

# 柏木ビジョン

新宿区立  
柏木小学校

2024.5.29

## 4年生 音楽 箏の授業「さくら さくら」

ホワイトボードに、漢数字が縦に並んでいて、子どもたちは、「さくら さくら」のメロディーに合わせて、数字を歌詞のように歌っています。どうやら楽譜なのでしょう。教室には子どもの伸長よりも長い箏がほぼ3人に1台あてがわれています。箏に目を向けると、真ん中の弦の下に七番のシールが貼られています。草深先生が、

「自分から一番遠いところにある弦が一の糸で、一番低い 音だからね。」

と話しています。さらに、  
「ドレミは、イタリアから伝わったもので、箏は日本の楽器なので、ドレミファとは並んでいませんね。」



箏の譜面

## 箏を弾いてみましょう

「さくら さくらのメロディーを1人ずつ交代に弾きましょう。弾いていない人たちは、メロディーを演奏する壱の数字で歌います。」

箏に通じていない私は、箏を弾いているのが全員右端であることに気がきました。逆に白いでっぱりよりも左側で弾くと、正常な音にならないと子どもたちに教えられました。

箏のメロディーを演奏する練習が一巡すると、

「演奏用の爪を付けていない手で、主メロディーに合わせる伴奏を練習します。」  
「次に飾りの音を練習します。主メロディーのときとちがって、流れるように弾きましょう。」

草深先生が実演で演示して、子どもたちにスモールステップで弾き方を練習して覚えていきます。

すると、自然と友達がサポートに入りながら、皆で琴の音色をたのしんでいます。



箏は右端で

友達がサポート

## みんなで演奏しましょう

「皆さん、今日は誰かがメロディー、誰かが低音  
誰かが飾りをするのか決めてください。」

と指示が出ました。じゃんけんをするチーム、話  
合いですんなり決まるチームと様々です。

たどたどしくも、メロディーを演奏する糸の数字で  
歌いながら演奏練習が始まりました。役を交代して  
取組んでいるチームも見受けられます。どのチーム  
も真剣です。



真剣な練習風景

3人で奏でられる曲は、授業開始時に比べて、明ら  
かに曲となっています。

ある程度練習が進んだのちに、グループに分けての発表会を行いました。草深先生が、  
「今日は3つのパートに分かれての練習でしたが、どうでしたか。」  
と尋ねると、

「飾りのパートがむずしかったです。」

「3人で一つの音楽にするのに、タイミングを合わせるところがむずかしかったです。」  
と答えていました。草深先生が、

「来週の学校公開では、いらした皆さんに見ていただこうと思います。」  
と、話したところ、ガッツポーズをとる子が何人か見られました。

## お箏の授業は…？

**お箏の授業と感想を教えてください。**

「箏は弦が長いし、良い音が奏でられます。いつもとは違う楽器で、むずかしいけれど楽しかったです。」

「テンポが早いところと遅いところがあって、その切り替えがむずかしい。」

皆様のご参加をお待ちしております。

**お箏のどこが楽しいですか。**

「とにかく日本らしい音が好き。世界で一つの音だから。」

## 草深先生に聞きました

「今日の授業は、共通教材の発展系です。和の音階の雰囲気と音色の良さを感じてほしいと思っています。」

**子どもたちの反応はいかがですか。**

「すんなり入ってくれてうれしいです。日本の楽器を指導する度に、子どもたちは根底にある和に響いてたのしんでいると思います。また、数字を追う音階は入りやすい子が多いですね。様々な音楽の魅力に広がりを見せてくれたらいいと願っています。」

